



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月8日

上場会社名 SDエンターテイメント株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4650 URL https://www.sdentertainment.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平川 真淳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 佐藤 美幸 TEL 011-860-2525
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,170	△38.5	29	—	12	—	△10	—
2019年3月期第1四半期	1,903	0.8	△61	—	△102	—	△151	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △11百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △150百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△1.22	—
2019年3月期第1四半期	△16.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	7,372	1,998	27.1	223.17
2019年3月期	8,042	2,009	25.0	224.40

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 1,998百万円 2019年3月期 2,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期 (予想)	—	0.00	—	1.56	1.56

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	△31.9	160	—	130	—	70	—	7.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	8,997,000株	2019年3月期	8,997,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	42,988株	2019年3月期	42,988株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	8,954,012株	2019年3月期1Q	8,954,012株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかに回復しているものの、2019年10月に予定される消費税増税や日韓問題の影響が懸念され、世界情勢においても米中間の貿易問題等、依然として不透明な状況が続いております。

当社は前期より進めてまいりました不採算店舗の閉店を継続することに加え、経営管理の高度化を進めるため社内に投資委員会及び人事委員会を設置し、より適切な経営判断を実施できる体制を整えてまいりました。また、フィットネス事業及びインターネットカフェ事業の業態変更や運営方法の見直しなどの構造改革を実施するとともに、保育事業・オンラインクレーンゲーム事業については市場環境や動向を見据え、積極的に投資しました。

当第1四半期連結会計期間については、既存店リニューアルに伴う休業期間の減収とグループ全体で保育園を9園開園させたことによる開業費用が大きな負担となりましたが、フィットネス事業を主力にするウェルネス事業の収益体質に向けた構造改革が順調に推移したことに加え、オンラインクレーンゲーム事業も順調に業績を伸ばし増益基調に転じたことから営業利益及び経常利益は前年同期比較で改善することができました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11億70百万円（前年同四半期比38.5%減）、売上総利益は10億52百万円（前年同四半期比32.0%減）、営業利益は29百万円（前年同四半期は営業損失61百万円）、経常利益は12百万円（前年同四半期は経常損失1億2百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は10百万円（前年同四半期は同1億51百万円）となりました。

当第1四半期連結会計期間より、固定資産の圧縮記帳の会計処理について会計方針の変更を行っており、遡及適用後の数値で前年同四半期比較を行っております。

当第1四半期連結累計期間における売上高をセグメント別に示すと次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

<事業部門売上高>

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	前年同 四半期比 (%)
ウェルネス事業 (千円)	799,761	112.6
(フィットネス)	483,561	95.8
(保育・介護等)	316,199	153.7
クリエイション事業 (千円)	134,569	140.7
(オンラインクレーンゲーム)	102,251	273.9
(インターネットカフェ)	32,318	55.4
不動産賃貸事業 (千円)	84,314	149.0
その他 (千円)	151,762	173.4
合計 (千円)	1,170,406	61.5

- (注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。
 2. ウェルネス事業は、前連結会計年度同様のフィットネス、保育・介護等の売上であります。
 3. クリエーション事業は、前連結会計年度のエンターテイメント事業のオンラインクレーンゲーム、インターネットカフェの売上であります。
 4. 不動産賃貸事業は、前連結会計年度のエンターテイメント事業の不動産賃貸の売上であります。
 5. その他は、通信テレマーケティング、カウネット代理店等の売上であります。

(ウェルネス事業)

フィットネスは、不採算店舗の閉店、既存店の近隣に24時間サービス提供型の競合店が相次いで出店したことにより、これまで好調であった店舗においても新規入会の獲得に苦戦したことに加え、当初想定していた計画よりも退会者が多くなったことで在籍会員が減少しました。また、一定の売上に貢献してきた短期間ダイエットサポート商品もサービスの改定などを理由に前期に比べサービス訴求を抑えたことから、売上高は前年同期比95.8%となりました。

保育・介護等は、懸念していた保育事業の新年度の園児退園による減収がありましたが、新規開園9施設の立上げの遅れの影響が軽微で済み、高齢者および学童向けデイサービス事業も緩やかに利用者を伸ばすことができた結果、売上高は前年同期比153.7%となりました。

以上の結果、ウェルネス事業セグメント全体の売上高は7億99百万円(同112.6%)となりました。

(クリエイション事業)

オンラインクレーンゲームは、既存ブランドの「ぼちくれ」は事業開始以来緩やかではあるものの堅調に増収推移し、前年同期比124.1%となりました。昨年9月に開業した当社新ブランドの「とれたね」につきましてもサービス開始直後から利用者を好調に増やすことができた結果、2ブランド合計の売上高は前年同期比273.9%となりました。

インターネットカフェは、昨年9月の「ディノスカフェ久居店」に続き、3月に「ディノスカフェ札幌白石店」、5月に「ディノスカフェ豊橋藤沢店」の不採算3店舗を閉店しました。また、「ディノスカフェ大曾根駅前店」を店舗改装のため6月中旬より休業したことにより大きく減収し、売上高は前年同期比55.4%となりました。

以上の結果、クリエイション事業セグメント全体の売上高は1億34百万円(同140.7%)となりました。

(不動産賃貸事業)

当社が北海道内に保有する建物の不動産賃貸収入は新たなテナント獲得により、売上高は84百万円(同149.0%)となりました。

(その他)

当社子会社が運営するコールセンター等の売上高は1億51百万円(同173.4%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は16億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億30百万円減少しました。これは主に現金及び預金が4億65百万円減少したことによるものであります。固定資産は56億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円減少しました。これは主に投資その他の資産が1億6百万円減少したことと、設備投資の追加により有形固定資産が86百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、73億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億69百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は30億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億28百万円減少しました。これは主に未払法人税等の3億99百万円及び店舗閉鎖損失引当金が91百万円減少したことと、短期借入金が4億94百万円増加したことによるものであります。固定負債は22億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億30百万円減少しました。これは主に社債が1億41百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、53億74百万円となり前連結会計年度末に比べ6億58百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は19億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円減少しました。これは主に利益剰余金が10百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は27.1%(前連結会計年度末は25.0%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月15日付「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表した連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(固定資産の圧縮記帳の会計処理の変更)

固定資産の圧縮記帳の会計処理について、従来、利益処分方式による会計処理を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間より固定資産の取得原価から直接減額する方式に変更しております。

この変更は、当社グループにおける事業構造の変化に伴い保育事業の重要性が増している状況から当該事業の固定資産に対する圧縮記帳の会計処理を検討した結果、利益処分方式を採用するよりも、直接減額する方式を採用する方が、当社グループの実態に即した、より適切な経営成績及び財政状態の開示に資すると判断したためであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の建物(純額)は165,705千円、繰延税金負債は30,137千円、利益剰余金は115,330千円減少し、繰延税金資産は20,236千円増加しております。

前第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失、及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ、2,678千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,864千円減少しております。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の遡及適用後の前期首残高は122,788千円減少しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,349,236	884,214
売掛金	269,955	327,243
商品	30,791	22,264
貯蔵品	24,692	39,347
未収還付法人税等	11,398	8,892
その他	584,866	358,029
貸倒引当金	△931	△922
流動資産合計	2,270,008	1,639,069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,083,441	2,282,915
土地	2,056,724	2,056,724
その他(純額)	286,488	173,656
有形固定資産合計	4,426,655	4,513,297
無形固定資産		
のれん	97,440	91,857
その他	95,702	85,573
無形固定資産合計	193,143	177,430
投資その他の資産		
差入保証金	869,466	784,076
繰延税金資産	33,271	26,089
その他	208,240	194,736
投資その他の資産合計	1,110,979	1,004,902
固定資産合計	5,730,777	5,695,630
繰延資産	41,961	38,259
資産合計	8,042,747	7,372,959
負債の部		
流動負債		
買掛金	193,802	119,728
短期借入金	760,000	1,254,300
1年内償還予定の社債	477,000	477,400
1年内返済予定の長期借入金	298,767	290,192
未払法人税等	415,672	16,659
賞与引当金	14,236	3,184
店舗閉鎖損失引当金	92,597	1,114
株主優待引当金	45,090	45,090
その他	1,209,423	870,427
流動負債合計	3,506,589	3,078,097
固定負債		
社債	1,265,300	1,123,600
長期借入金	936,226	874,560
繰延税金負債	158	131
資産除去債務	141,729	145,577
その他	183,488	152,763
固定負債合計	2,526,901	2,296,632
負債合計	6,033,491	5,374,729

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	227,101	227,101
資本剰余金	1,926,351	1,926,351
利益剰余金	△140,507	△151,453
自己株式	△9,684	△9,684
株主資本合計	2,003,261	1,992,314
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,995	5,916
その他の包括利益累計額合計	5,995	5,916
純資産合計	2,009,256	1,998,230
負債純資産合計	8,042,747	7,372,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,903,306	1,170,406
売上原価	354,032	117,422
売上総利益	1,549,274	1,052,983
販売費及び一般管理費		
給料	496,404	370,424
賞与引当金繰入額	3,065	3,184
退職給付費用	5,301	3,773
地代家賃	288,890	125,128
その他	816,974	520,678
販売費及び一般管理費合計	1,610,636	1,023,189
営業利益又は営業損失(△)	△61,362	29,794
営業外収益		
受取利息	405	302
受取配当金	306	466
受取保険金	87	403
物品売却益	-	1,063
その他	1,875	1,416
営業外収益合計	2,675	3,652
営業外費用		
支払利息	16,605	11,281
アミューズメント機器処分損	10,570	-
その他	16,846	9,796
営業外費用合計	44,022	21,077
経常利益又は経常損失(△)	△102,709	12,369
特別利益		
補助金収入	900	-
固定資産売却益	-	7,331
資産除去債務戻入益	-	9,318
特別利益合計	900	16,649
特別損失		
固定資産売却損	-	246
固定資産除却損	24,390	6,835
店舗閉鎖損失	4,644	7,440
特別損失合計	29,035	14,521
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△130,844	14,497
法人税、住民税及び事業税	15,886	18,437
法人税等調整額	4,503	7,007
法人税等合計	20,389	25,444
四半期純損失(△)	△151,233	△10,946
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△151,233	△10,946

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△151,233	△10,946
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,140	△78
その他の包括利益合計	1,140	△78
四半期包括利益	△150,093	△11,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△150,093	△11,025
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。